

北海道150年を記念 講演やパネル討論

北大でフォーラム

北海道命名150年を記念したフォーラム（実行委主催）が18日、札幌市北区の北大工学部フロンティア応用科学研究棟で始まった。2日間の日程で道内ゆかりの経済人らが北海道の

課題や未来について語る。

初日は日本総合研究所会長の寺島実郎さんらが講演し、約300人が集まった。

寺島さんは、高齢化社会について持論を展開。「高齢者が参画できる社会をいかにつくるかが重要」と説き、北海道について「人間の心にとって最も重要な食を生み出す1次産業が身近にある。高齢者が参画でき

る社会をつくる格好の実験場になる」と強調した。

19日は午前9時から。丹保憲仁・元北大学長らが講演。午後1時半からは名和豊春・北大学長、総合化学



「高齢者が参画できる社会をいかにつくるかが重要」と語る寺島実郎さん

（高橋澄恵）

メーカー・カネカの菅原公一会長、料理研究家の星沢幸子さんらがパネル討論を行う。入場無料。